

小児のインフルエンザワクチン接種について

日本では、13歳未満の小児は、インフルエンザワクチンの接種回数は2回となっています。1回接種後よりも2回接種後の方がより高い抗体価の上昇が得られるためです。成人では、インフルエンザワクチン0.5mLの1回接種で、2回接種と同等の抗体価の上昇が得られるため、1回のみです。

一方で諸外国の状況について、世界保健機関（WHO）においては、9歳以上の小児及び健康成人に対しては「1回注射」が適切である旨、見解を示しています。また、米国予防接種諮問委員会（US-ACIP）も、9歳以上の者は「1回注射」とする旨を示しています。（厚労省HPより一部転載）

これらの情報をふまえ、できるだけ多くの方にワクチンを接種していただくために、当院では小児の接種回数について下記を原則と致します。

>6か月以上9歳未満：2回接種

>9歳以上13歳未満で、初めてインフルエンザワクチンを接種する方：2回接種

>9歳以上13歳未満で、過去に2回以上インフルワクチンを接種した方：1回接種

>13歳以上：1回接種

<予約方法>

1回目予約はWebのみ。1回目接種時に、必要な方のみ当院で2回目の予約を取ります。

<費用>

1回につき、4400円(税込)

<ほかのワクチンとの接種間隔について>

コロナワクチンとインフルエンザワクチンの接種間隔は13日以上（翌々週の同じ曜日は可）。